魔堕裁判
退魔士カグヤ　外伝

最強のフリー退魔士、川澄カグヤの事務所に届けられた1通の封筒。
任務から帰還したカグヤが封筒を手に取る。
そこには、
「退魔士　川澄カグヤ
緊急招集命令
明日の10時、退魔士協会本部にて
差出人　退魔士協会本部長」
とだけ書かれてあった。

一級退魔士
川澄　カグヤ

退魔士協会上層部とあまりいい関係ではないカグヤは憂鬱に感じるも緊急の案件がある可能性も消せないため、渋々、招集命令に従い、協会本部に出向くことを決めた。狡猾な罠であるとも知らずに…

川澄カグヤ、招集命令により参りました。緊急の用とは何でしょうか。

ご苦労。

一級退魔士、川澄カグヤ数々の強力な妖魔を討伐、日頃の活躍は上層部も目にかけている。

しかし、今回の招集はあまりいいものではないかもしれないな。カグヤくん…

退魔士協会本部長
榊　権蔵

君に退魔警察から逮捕状が請求されている。

ひいてはおとなしく退魔裁判所に出頭してもらう。

ちょっと待って！
私が一体何をしたっていうの！
理由も聞かせず逮捕なんて！
こんなの不当よ！

私がそれを君に告げる義務はない。
弁論は法廷で述べてもらおう。
それ以上の抵抗を見せるなら
こちらも少し手荒になるぞ？

え？結界霊術…？
いつの間に結界を貼られていたの!?

結界霊術
破衣崩脚

それに足が…
下半身の力が抜けていく……！
これもあいつの霊術なの!?
もう立っているのも精一杯……！

ククク…
フリー最強の退魔士ともあろうものが、衣服もボロボロに破かれ乳を放り出して腰を抜かして足もガクガク。無様なものだな。

はーっ はーっ

くっ…力が入らない…！一刻も早くこの場所から逃げないとダメなのに…！動いて！私の体！

ダメッ!!
イクッッ!!
甘い痺れが…!
アソコから上がってきて
頭をダメにする…!
こんなのムリッ!!
ただの結界術に…!
イカされる…!!

おぉ、！
これはこれは、お早い到着で。
たった今、川澄はおとなしくなったところでございます。

ムホホホ…
ご苦労であった。この女の相手は骨が折れたであろう。しかし、こやつの状態はどうだ？
？？？？
？？？？

ムホホ…やはりいつ見てもスケベな身体をしておる。ここは一杯、カグヤ君をあてに酒盛りでもどうかね？
はっ、健康状態、霊力、感度、全て良好であります。今が計画を遂行する絶好のチャンスかと…！

ムフェフェ…
またもやこやつの甘美な肉蜜を翫味できるとな…尻の穴の奥の奥までねぶりつくしてやろう…ムフェフェフェフェ…
？？？？
？？？？

グフフフ…
嵌められたヒロインが人魔入り乱れし肉欲に貪り尽くされる…最高のシナリオだよ！カグヤちゃん…♡
？？？？
？？？？

退魔士協会本部長　榊権蔵の結界霊術により戦闘不能の窮地に陥るカグヤ。そこに現れた3人の怪しげな影。しかしカグヤは未だ昏睡状態。地に伏せるカグヤの女体を　まじまじと視姦する3人の男。

そしてついにカグヤは捕らえられ人間と妖魔の肉欲が交錯する、狡猾な謀略の生贄となる。最強と聞き、多くの人間と退魔士名高いカグヤの裁判として参加する。妖魔が傍聴人として川澄カグヤが人魔入り乱れ大衆の前でこれ性拷問とも言える恥辱的な裁きを受けるまでの物語である。

退魔士カグヤ　外伝

魔堕裁判

魔堕裁判
退魔士カグヤ外伝

前回のあらすじ
退魔士協会からの招集を受けカグヤは協会本部に向かう。本部長・榊権蔵の部屋に通され榊の発言にカグヤは驚愕する。なんとカグヤに逮捕状が請求されており、退魔裁判所への出頭を命じられたのだ。カグヤは潔白を主張するも榊はそれを抵抗とみなした。
部屋中に張り巡らされた結界にカグヤは動きを封じられ、蜘蛛の巣にかかった蝶のように狡猾な罠に籠絡される。さらに榊の結界霊術を身体に浴びせられたカグヤは全身を駆け巡る快楽に気を失い力の抜けた肉体は倒れこむ。息を乱し地に伏すカグヤの女体には3人の怪しい影が忍び寄っていた。

ムホホホ
川澄カグヤ…
失神してもなお溢れ出る霊力、
美しく実った豊満な女肉、
やはりいつ見ても素晴らしい
最高の女だ。
ハリのある良い乳だ。
乳首もコリコリに
おっ立てよって
ムフェフェフェ…
なんと大きな尻だ
ケツの穴も弄りがいが
ありそうだ
フフフ…
愛しの
カグヤちゃん
久しぶりだね
お二人もカグヤちゃんの
スケベボディーに惚れ込んで
いるようですな
今日は存分にこの女体を
嬲り尽くしましょうぞ

ククク…演者は揃った…

我々の肉欲とその女体を存分に交わらせ乱れようぞ

快楽の深淵に沈め堕としてあげよう…！連行しろ

ダラ…

うっ…ここにいるのは…だれ…？

被疑者・川澄カグヤ退魔法違反の容疑で連行する

くっ…結界の影響で…体が動かない！

だめ…逃げなきゃ…

また屈辱的なコトを…！

でも…意識が…遠く…なって…

…

退魔裁判所　収監棟内
特殊指定留置エリア
封魔滅霊禁留室――

カチャ…

カチャ…

カラカラ…

ん……

ここは…？

そうだ…

私…

気を失って…

ガチャ…
なっ…!?
!?
ムチィル
何これ!? 身動きがとれない!!
霊力も出せない!
それに…お尻に…ん…何か挿れられて苦しい…
ミチ ミチ
ククク…目が覚めたかな？川澄カグヤくん

あなたは……！
榊権蔵!!

フフフ…

ここは退魔裁判所内の留置所

君はもう被疑者だ。抵抗すれば即座に罰する。

これから君に自白剤を投与する。屈強な精神をもつ君のことだ。すぐには口を割らまい。

くっ…手足を拘束されて霊力も封じられてる

ギッ

裁判を円滑に進めたいのでね。最高濃度のものを最も効果のある服用方法で体内に流し込む。

自白剤…？そんなものに私は負けない…!!

!?

ス

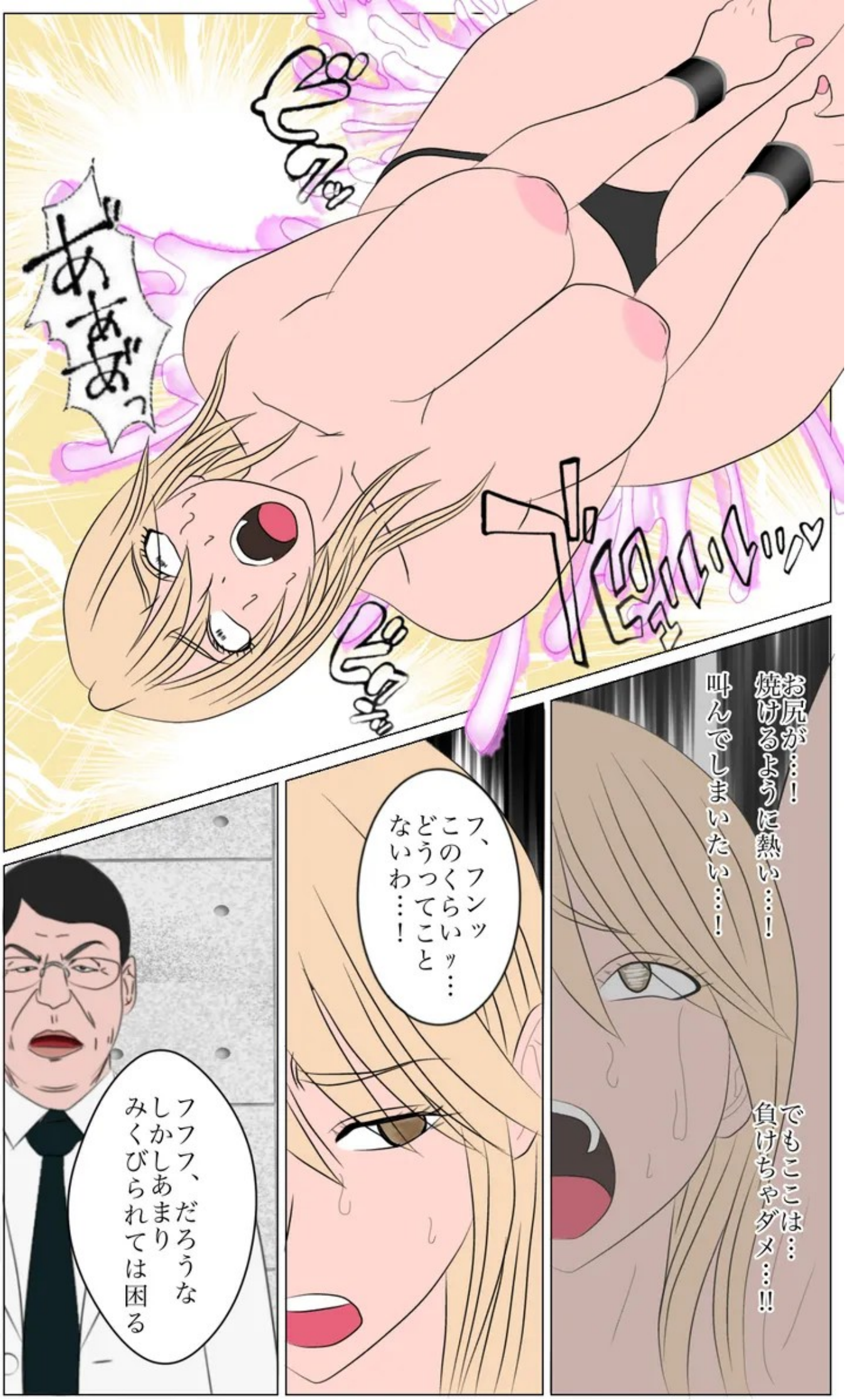
アナルから直腸だ。

ポチッ

早速、注入開始といこうか

ウィィィィィ

まって！なにかくる…！ヤバイっ!!


ぶるっ
ぶるっ
あぁぁっ
ぶるるるっ♡
お尻が…！
焼けるように熱い…！
叫んでしまいたい…！
でもここは…
負けちゃダメ…!!
フ、フンッ
このくらいッ…
どうってこと
ないわ…！
フフフ、だろうな
しかしあまり
みくびられては困る

君の肉体を蝕む
数多の性調教を
我々は全て
把握している

何度も妖魔に陵辱された影響で

どうやら君は淫水への耐性が限りなく低いらしいな

そんな雑魚退魔士の君にささやかなプレゼントだ

ブポ…ブポ…

!?

ククク…やはりよく似合う。退魔士の恥さらしにふさわしい情けない顔だ。

えっ!? 口の中まで直接管が伸びて…声も出せない！

くっ…あの少量で淫気が一気に濃くなった!!

むあ…

特殊製法で淫水を濃縮した淫瘴ガスだ、さあ、たっぷりと味わうのだ

ダメっ！こんなの直接吸ったら…！

どうなっちゃうの私の身体!? イヤッ！無理っ!!

おッ
ガッ
ゴッ
ぐぐ…!!

あぁ！ダメっ!!
こんなの吸わされるなんて!!
呼吸のたびに全身が
敏感になって…！

おっ

アナル…アナルが…！
自白剤で犯されて熱い…！
イクッ！アナルでイッちゃう!!

あっ

むぁぁ…

ククク…
強烈だろう？
最強退魔士の君には
これぐらいの刺激が
必要だと思ってね。

おっ

イクのが
止まらないか。
気に入ってくれて
うれしいよ

う…っ

ククク…
腹もだらしなく
膨らんできたな。
いい具合だ。

コポ…
コポポ…

ククク…やはり淫水耐性は0に等しいな。まあ無理もない。私の霊術を浴びた後に特濃自白剤と淫癖ガスを上下の口から飲ませたからな。感度は数十倍に増しているだろう。

はぁ…

はぁ…

はぁ…

一度降ろせ。体制を変える。

カラカラ…

雌奴隷にはより恥辱的な拘束が必要だ。

淫癖ガス噴出装置を最大出力に。

ビリビリ

おっ!?

ビリビリ

おぉぉ!!

このまま出廷まで監禁しておっ。

おっ!!

んぁっ

ぐぐぐ…!!

フフフフ、どうやら調教は順調のようだね。今のカグヤちゃんの状態は？

これはこれは[redacted]さま、ただいま川澄カグヤには淫瘴ガスを最大出力、マ◯コとアナルには大量の強淫水を流しております。

グフフフ…よろしい監禁室の淫気濃度が凄まじさを物語っているな。そろそろいいだろう。出廷の準備を整えたまえ。

あっ♡

あッ♡

んっ♡

おっ

んあっ♡

お゛ッ!!

う…っ♡

え…あ、おっっ!!

イクッ♡

イクッ♡

ンンッ…!!

さぁ、カグヤちゃん…
どれだけ陵辱されても屈しない
その気高き心と豊満な肉体…。
我々の肉欲のままに貪られ
熾烈な辱めと耐え難い快楽に
どこまで耐えられるか…。
期待しているよ、正義の女傑
川澄カグヤちゃん♡
魔堕裁判、
開廷の時刻まで
残り1時間…
グヒヒヒヒ…！

カグヤを絡め取る黒い謀略に必死の抵抗を見せるカグヤだが遂に退魔裁判所に拘留される。そこで待っていたのは榊による苛烈な性調教。裁判の円滑な進行を理由とした淫水成分入り自白剤浣腸に加え呼吸をする度に特濃淫気ガスを吸入させられるカグヤ。

毎秒、敏感になる肉体と絶え間なく注がれる淫気に必死に耐えるカグヤだったが榊は調教の手を緩めることはなかった。恥辱的なポーズで拘束されカグヤは抵抗すら許されず、肉体を快楽に蝕まれるのであった。裁判開廷まで

退魔士カグヤ　外伝

魔堕裁判

退魔士カグヤ　外伝

魔堕裁判

To be continued…

退魔士カグヤ　外伝
魔堕裁判

退魔士カグヤ　外伝

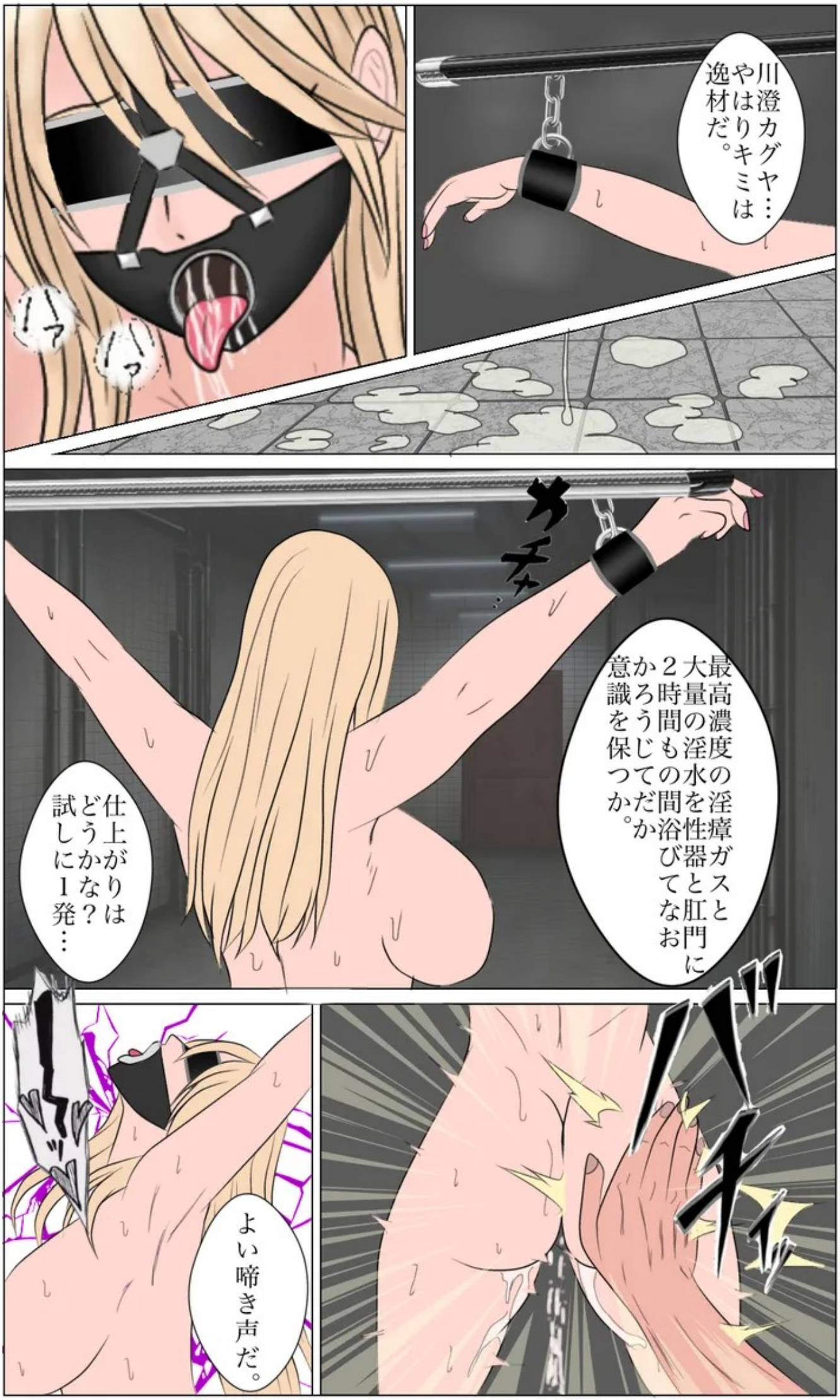
魔堕裁判
3

前編

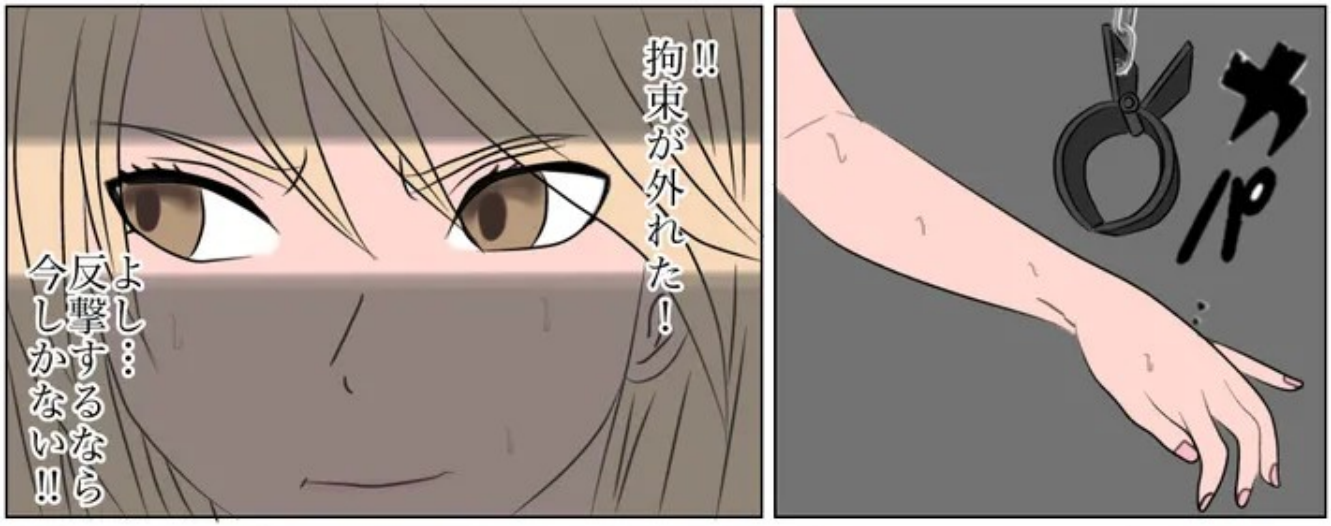
前回の裁判所にて退魔師そのカグヤは肛門を覆う媚薬を前にして顔を赤らめ、大量の精液を注ぎ込まれ、呼吸すらままならない状態に陥ってしまう。

カグヤは幾度となく肛門を穿つ強烈な絶頂に失神する。抵抗を続けた女体に羞恥的な調教を施し、更に強力な拘束力の抜けた魔手は流れ込まれ、カグヤは許されず毒牙にかかる。

裁判開廷一時間――。


川澄カグヤ…やはりキミは逸材だ。
ハァ
ハァ
最高濃度の淫瘴ガスと大量の淫水を性器と肛門に2時間もの間浴びてなおかろうじてだか意識を保つか。
ケチャ
仕上がりはどうかな？試しに1発…
よい啼き声だ。
バチィ

どれ…そろそろ君の美しいお顔を拝見しよう
ニュル
ドロォ…
ククク…最強退魔士さまも所詮はただのメス。無様だな。
被疑者・川澄カグヤ心身ともに良好、感度検査を終了し、出廷の準備を着手する。
この敏感な肉体では逃げられまい。拘束を解除しろ。


カパ

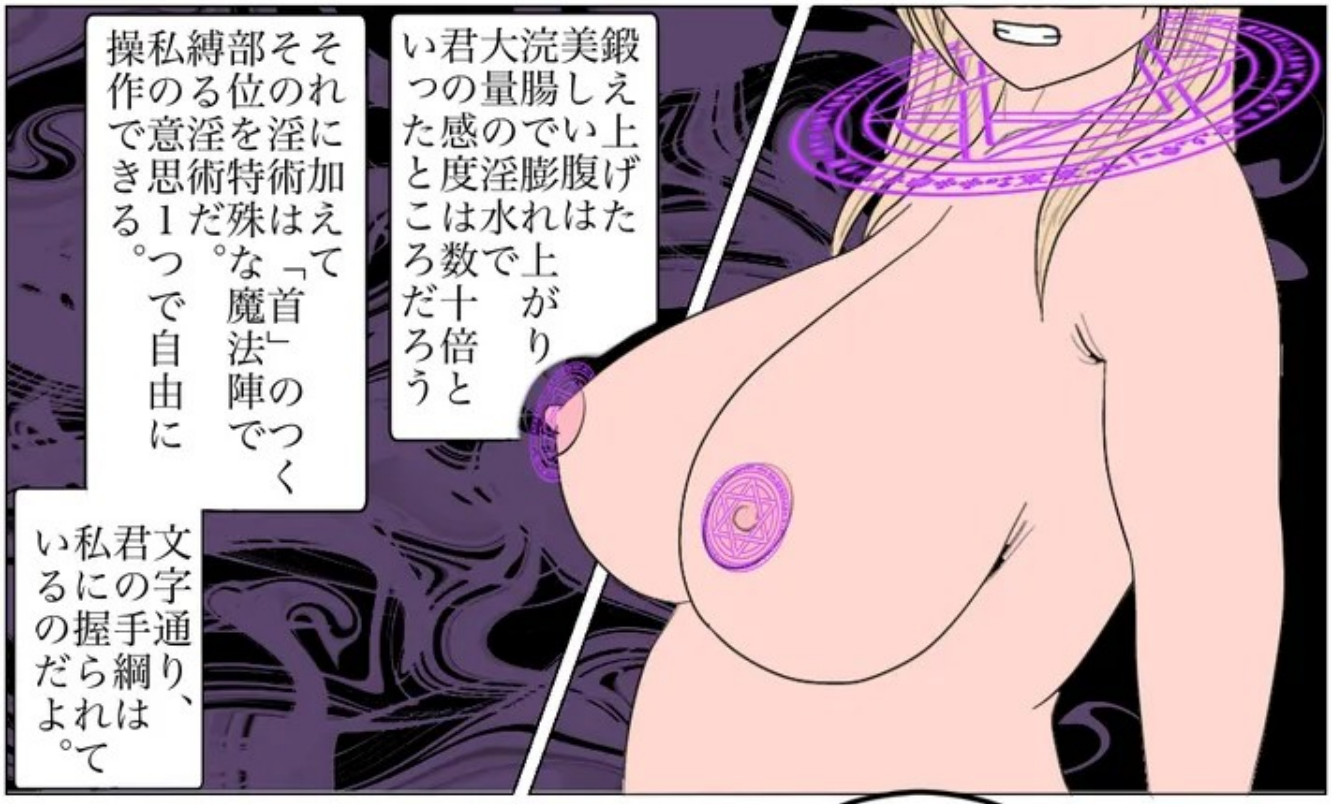
拘束が外れた！
よし…反撃するなら今しかない!!

ゴロ
あッ
ダメ…体が床に触れるだけで快楽が…
身体も霊力も万全ではないけど…ここは一か八か…！
んっ…、油断したようね…！私を侮辱したこと後悔しなさい！はぁぁぁ…!!
陽魂――!!

!?
妖輪首縛法
ブイイイン
一瞬の希望から再び自由を奪われて手籠にされる気分はどうだ？
ククク…隙をついて反撃、君の十八番だね。
う…っ♡
残念だが全てお見通しだ。面白いぐらいにね
グッチャ

何度やっても同じことよ！私は絶対に負けない！

おー、こわいこわい。
いつまでその虚勢を張っていられるかな？


鍛え上げた美しい腹は浣腸で膨れ上がり大量の淫水で君の感度は数十倍といったところだろう
それに加えてその淫術は「首」のつく部位を特殊な魔法陣で縛る淫術だ。私の意思1つで自由に操作できる。
文字通り、君の手綱は私に握られているのだよ。

1つ、君に提案だ。
当裁判所では大変慈悲深い制度を採用していてね。A～Eのランクで被告人を分類しているのだよ。もちろんランクが高いほど受ける待遇も厚くなる。例えばEランクの被告では衣服を着用する権利をはじめ様々な権利を剥奪している。
そこでだ、高ランクを目指しここで私とカグヤ君で楽しいゲームをしないかね？

ルールは簡単！私の命令に従い私を満足させればいいだけ。

もちろん拒否も可能だが

その際は"アレ"だがね。

くっ…少し触れられただけで痺れるみたいに！こんな状態でまた淫気を当てられたら…

く…わかったわ約束は守ってもらうわよ。

グッド。懸命な判断だ。

と、その前に君にささやかなプレゼントだ。

ベロォ…

ククク…くるぞ…？321…

え…？何これ…ダメッ!!

ビクンビクン

ドクン

!?

ビクッ!!

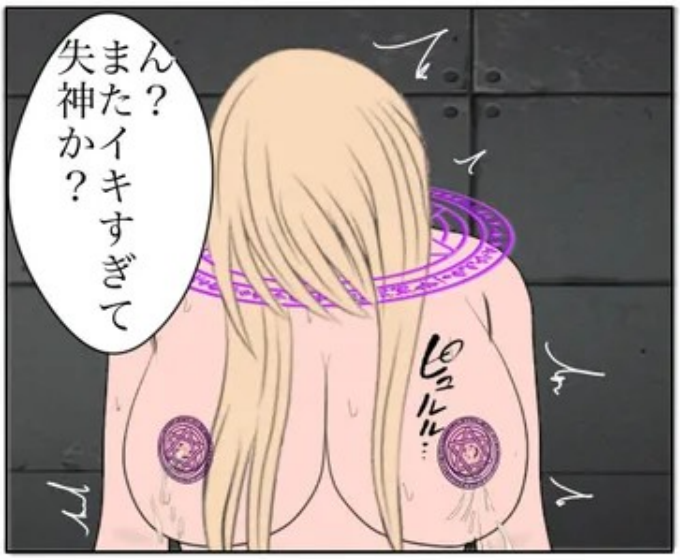
ゼロ。
ククク…効くだろう？この注射は特殊なものでね。
ゴポポ…

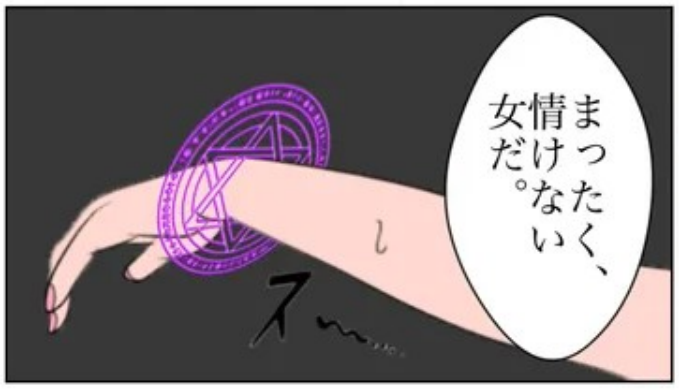
そしてもう1つは

催淫効果を一時的に中和できるが、
強烈な副作用を伴う。1つは過度の性的絶頂。

噴乳作用だ
ビクビクッ
ビクッ
ビクッ
ペロッ

あっ♡
あッ♡
おッ
母乳が溢れて止まらない…！
母乳が出るたび乳首を刺激されて…
イキっぱなしで気持ち良すぎる!!
もう乳首絞らないで!!
ビュル〜〜…





噴乳アクメで失神する女には罰を与えんとな。ククク…実に無様な格好だ。
私がゲームの用意を終えるまでそのまま乳搾りを続けてやろう。
妖輪磔縛陣

ククク…実に美しい。その結界は先程のものよりさらに強力でな。術者の解呪がないと決して逃れられん。
そして絶頂のたびに霊力を吸い上げさらに強力な結界となる。君を辱めるための陵辱淫法の1つなのだよ。ククク…さぁ、イキ狂え！
あぁ
イキィィン

ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

榊による調教によって満身創痍のカグヤ。
一瞬の隙を突き反撃を試みるもさらに強力な術で拘束される。
逃げ道の法術はあるゲームを提案する。
カグヤにゲームを提案する。
カグヤは半強制的に榊の薬品を呑まされる。
母乳出犯されて注射される。
噴き出すと共に中和する。
そして榊に苦しめられる。
「カグヤ恥辱ゲーム」が始まろうとしていた。

退魔士カグヤ　外伝

魔堕裁判
3

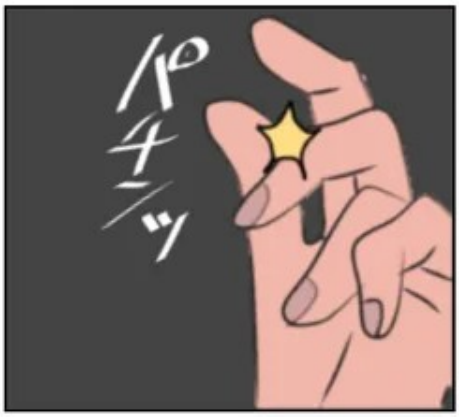
後編

……
ん…体が…
確か…
注射を打たれて…
!?
ククク…
お目覚めかね？
乳搾りでイクとはな…
無様な醜態を晒し
また失神していたぞ？
さぁ、準備は
できている。
楽しいゲームを
始めようか。
バチ
バチ

ククク…やはり美しい肉体だ。中和剤の効果でボテ腹も幾分かマシになったろう。乳はパンパンに張って今にも噴乳しそうだがな。

ここからは拘束を解いてやろう。私の命令に従い、卑猥なポーズをとってもらう。

手袋とニーハイは全裸よりも卑猥だが君の身を守るための装備だ。感謝したまえ。



どうだ？これが淫雷だ。
先ほど、君が気を失っている間にマ〇コとアナルに電極を挿入した。
あれほど調教したアナルがまだキツキツでね。挿入に苦労したよ。
前の穴の方はすんなりと受け入れたがね。

ダメっ…一撃でわかった…こんなのを何度もくらったら…

う…っ

完全に敗北してしまう…！

おっと、気をつけたまえ

母乳を伝って感電するぞ。ククククク…

あまり時間がないのでね

まずは開始宣言だ。

くっ…抵抗したいけど…あんなのを何回もくらうなんて…抗えない…！

股を開いて腰を落とし

ここは…悔しいけど従うしかない！

右手で敬礼だ

左手は腰に添えて

ゲーム名は…「退魔士カグヤの淫猥乱舞」とでも言いたまえ。セリフは君に任せる。

くっ…なんて下品なことを言わせるの！
でも…抵抗すれば…
間違いなく私は負ける…！
だから…今はこの恥辱に耐えなきゃ…！
ビッ
うっ…川澄カグヤの…淫猥乱舞…どうぞご覧ください…。

ククク…少し声が小さい気もするがよしとしよう。

だが、次はないと思いたまえ

くっ…なんてポーズ…

恥ずかしい…。でも私は負けない…!!

しかしかの川澄カグヤがこうも簡単に従順になるとはな

よほど淫雷が効いたとみえる。最強退魔士の弱点が電気責めとはな。過去の調教を肉体が覚えているようだ。

なおってよし。

さぁ、次のポーズだ。どんどんいくぞ？

次は、そうだなひざまづいて服従のポーズだ。できるな？

っ…はい…。

おっと、魔法陣が反応しているな。あまり愛液を漏らすと淫雷が通電するぞ？
ククク…実に素晴らしく卑猥な演舞だ。どんどん次の演目に移るぞ。
いこう
くっ…どれだけ無様な姿を晒しても…
心は決して屈しない…!!
バチッ

そんなカグヤの覚悟を嘲笑うかのように榊は次々と卑猥なポーズを命令する。
全裸倒立
I字バランス
白鳥の舞
和式便所
道踊淫命魔淫カ
は子猥令法雷グ
なとなに陣がヤ
かな痴逆のほは
つる態ら上と
たほをえでば
。か晒ず し
にす る

両の手足を地につけ尻を高く突き上げろ

もうイヤ…

もうダメ…

乳首を弄り母乳を飲め

ククク…どうした？

動きにキレがなくなってきたぞ？

さぁ、次は蹲踞の姿勢で両手はピース。

制裁だ。

えっ、ちょっとまっ…
淫雷
パチンッ
悔しいけどもう…
恥辱で心が
犯されてるっ!!
バチバチッ

ククク…
アヘ顔と失禁は指示していないが…
まあよかろう。

あっ♡

んっ♡

バチッ

ガクッ

もう、だめ…
これ以上は…

身も心も
堕ちてしまう…!!

全裸になって
土下座しろ。

なっ…!? 全裸で!?

安心したまえ 魔法陣は解除する。 これで心置きなく 平伏すことが できるだろ？

さぁ、どうする、 川澄カグヤ。 お前を縛る淫雷の 脅威は去ったぞ。 命令に従うも背くも キミ次第だ。

しかしだ、 このゲームで君の 被告人ランクが 決まることを 忘れるな。

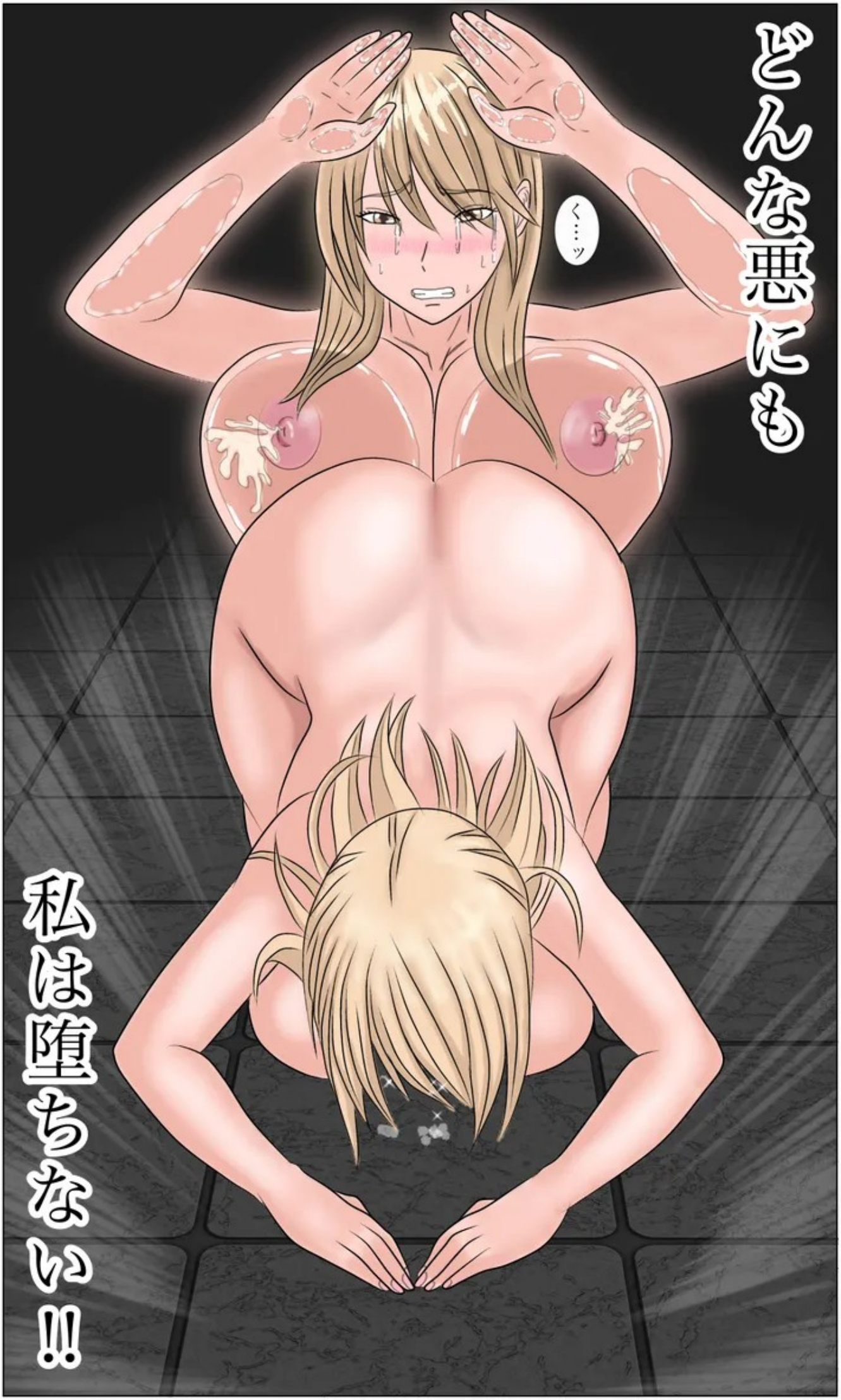
くっ…なんて卑怯なの！ 従いたくなんかないけど…

でも仕込まれた淫具からは強烈な妖気を感じるし…

おそらくだけど 魔法陣がなくても 淫雷は発動する…

また淫雷を浴びればもう…

負けてしまえば 希望はついえる。 これは形だけ… 決して恥辱に 屈したわけじゃない！


どんな悪にも
く……ッ
私は堕ちない!!

ククククク…実に素晴らしい土下座だ。

キミの判断は間違っていないよ

むあ…

その電極が体内にあれば淫雷は発動できるからな

ここまで頑張った褒美をやろう

どちらかの電極を引き抜いてやる。

ただし、2つ条件がある。

一つ、土下座を崩さないこと。

二つ、無様に懇願すること。

よし、始めろ。

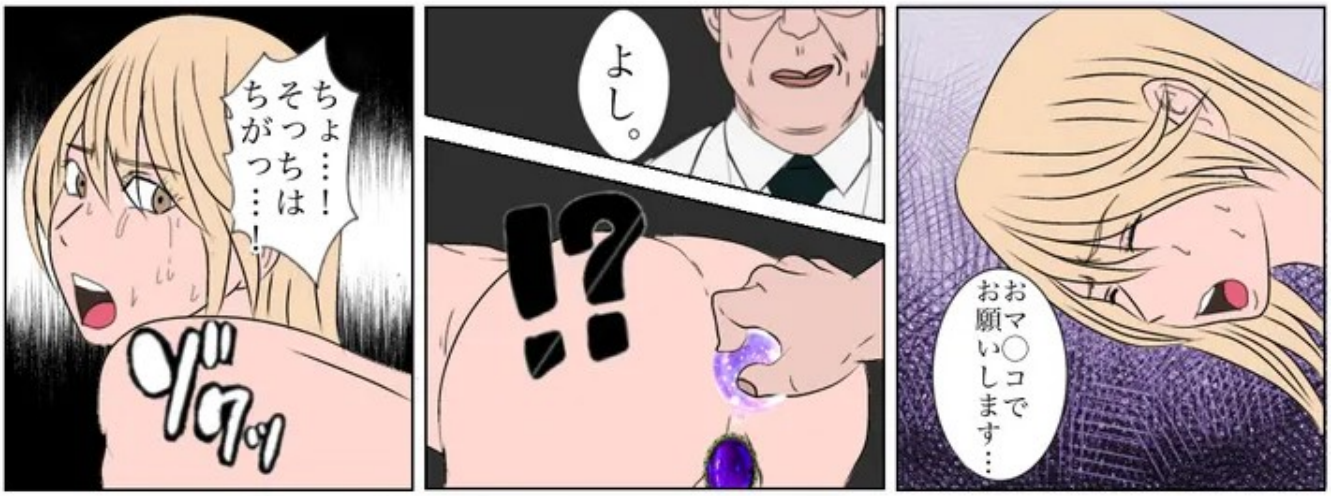
くっ…なんて卑怯なの

しかも中和剤の効き目がもう切れかけてる…

今、お尻を刺激されると…

…んこ

出すのだけは絶対にダメ!!



ほぉ〜れ。一気に引っこ抜くぞ？おいおい、土下座はどうした？淫水もぶちまけて気分はどうだ？

ほ〜れ

ビクッ

ブルルルッ

ズルルル

ダメっ！出てる…！

頭が痺れて…

でも…

これ以上漏らすわけにはいかない…!!

ギュッ

ビクッ

おっと、すまんすまん引き抜く電極を間違ったかな？

ビクッ

ビクッ

ブリュッ

最近、耳が遠くてな。尻から何か下品な音が聞こえるがこれも気のせいかな？

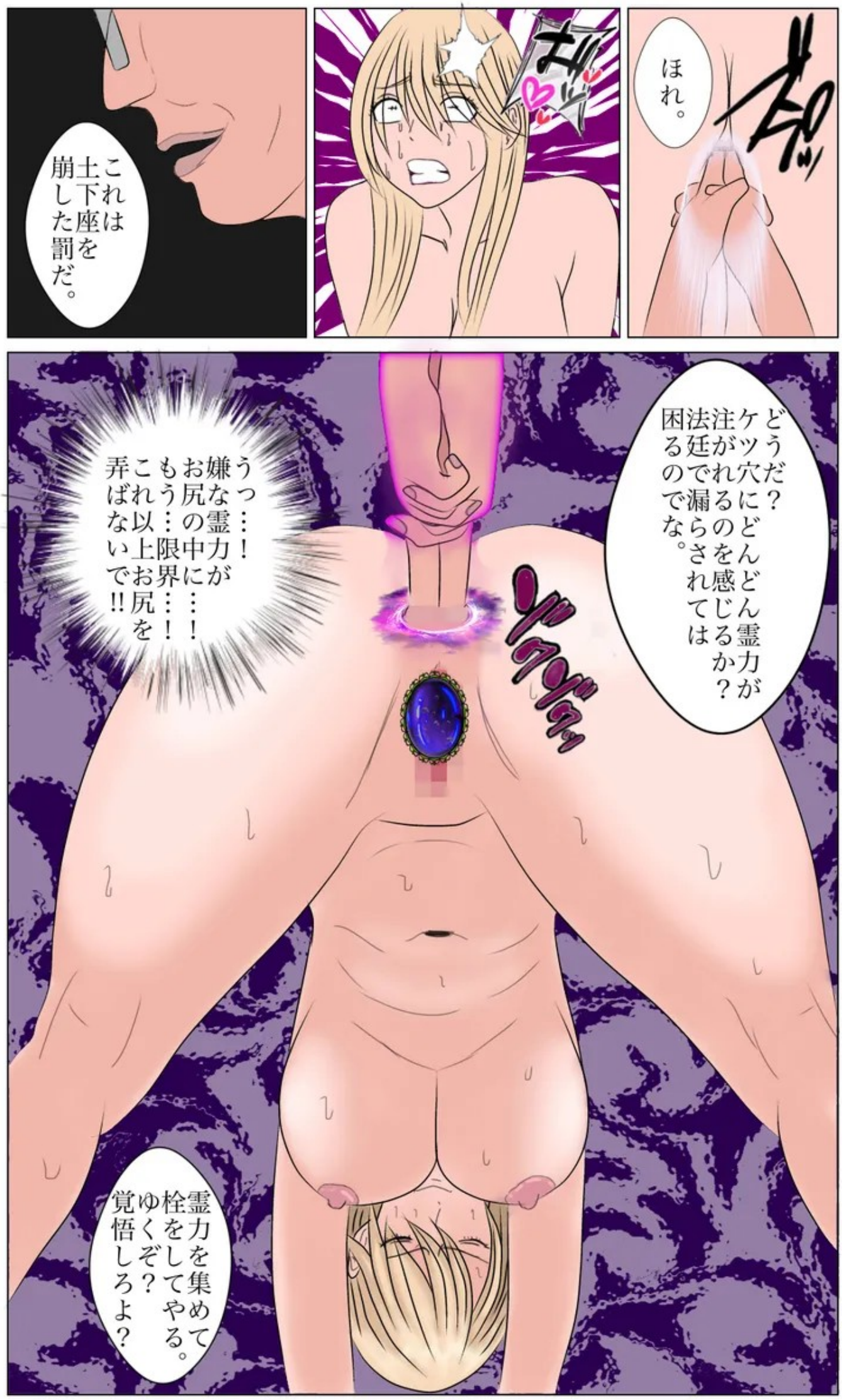
ほう…まだ尻穴を締めるか…

それにこの霊力…この少ない時間でここまでとは…

素晴らしい。これ以上にない完璧な器だ。

しかしそろそろ時間なのでな。

コイツでトドメをさしてやろう。


ほれ。
これは土下座を崩した罰だ。
どうだ？ケツ穴にどんどん霊力が注がれるのを感じるか？法廷で漏らされては困るのでな。
うっ…！嫌な霊力がお尻の中に…！もう…限界…！これ以上お尻を弄ばないで!!
霊力を集めて栓をしてやる。ゆくぞ？覚悟しろよ？

陵辱淫法

魔瘴魂

「処女菊穿ち」

だめ…もう意識が…

ククク…どうた？強烈だろうな。

しっかりと栓をしてやったぞ。開いた穴から霊力が溢れ出すほどにな。ククク…

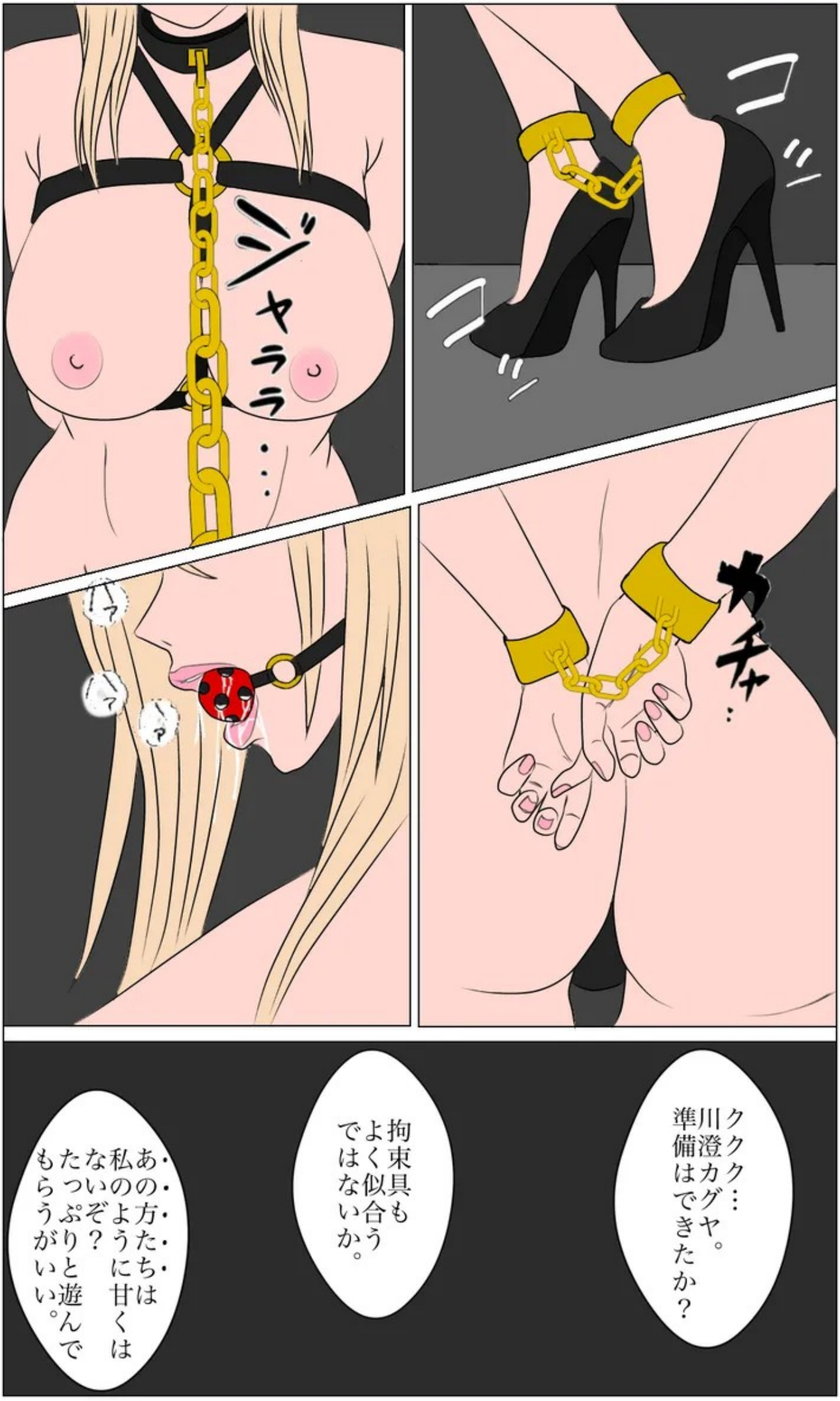
そろそろ出廷の時間だ。

負け犬には首輪をつけてやらんとな。

ほう…よく似合っているぞ

被告人、一級退魔士
川澄カグヤ。
出廷前身体検査を終了し、
被告人ランクを"D"として
これより法廷に連行する。

無実の罪で囚われ、退魔裁判所に連行されたカグヤ。そこで待ち受けていたのは退魔士協会本部長・榊権蔵による恥辱的な性拷問だった。圧倒的な霊力の差と狡猾な責めにすべなく陵辱される。
とめどなく襲いくる快感の前に必死の抵抗をみせるカグヤ。しかし榊はカグヤを嘲笑うように恥辱的な拷問を続ける。度重なる強制的な絶頂と屈辱に精神はかろうじて保っていたが肉体は完全に侵蝕されていた。そして…


ジャララ…
コツ
コツ
カチャ…
ハァ
ハァ
ハァ
ククク…川澄カグヤ。準備はできたか？
拘束具もよく似合うではないか。
あの方たちは私のようになかなかいぞ？たっぷりと遊んでもらうがいい。

川澄カグヤ。魔堕裁判へようこそ。
さぁ、裁きの時だ。
魔堕裁判まもなく開廷――
退魔士カグヤ　外伝
魔堕裁判

退魔士カグヤ　外伝

魔堕裁判

To be continued…